

南平体育館建設物語

～新たなスポーツコミュニティの拠点を目指して～

発行 日野市文化スポーツ課 電話番号：042-514-8465

FAX：042-581-2516

e-mail：sports@city.hino.lg.jp

日野市建築営繕課

電話番号：042-514-8195

FAX：042-581-2516

e-mail：k-eizen@city.hino.lg.jp

【今月のもの語り～建築計画について～】

浅川以南エリアにおける「市民の活動拠点」

現在建設中の南平体育館は、スポーツ利用の方々はもちろん、地域住民の皆さまにとって、新たな人やスポーツとの「出会い・ふれあいの場」となることを目指し計画されています。外から見通せる明るいラウンジ・キッズコーナー・集会スペースはスポーツをしない方でもフラットと立ち寄りいただける地域の共用空間です。また受付・ラウンジを中心とする明快な空間構成とバリアフリーに配慮した動線計画により、誰もが安心・安全にすごせる施設となっています。設計に際し、ワークショップ、ヒアリング、パブリックコメントを通して、市民の皆さまから多くのご意見をいただくことで、より地域に寄り添った設計とすることができました。ご協力ありがとうございました。

株式会社 松田・平田設計

設計者 矢澤

【浅川以南の防災拠点としての役割】

災害時に人々を優しく受け入れる「市民のセーフティハウス」としての役割について紹介します。

①信頼性の高い耐震性能を確保する構造計画

国の「官庁施設の総合耐震計画基準」のⅡ類として計画し、立川断層帯地震において想定される震度6強に対して、人命の安全と機能確保から大地震時に大きな補修をすることなく建物が使用できる構造となっています。

②3日間の自立的な機能維持が可能な計画

過去の大規模災害におけるインフラや物流の復旧に要する時間を踏まえて、3日間の自立的な機能維持が可能な施設となっています。

③災害発生直後から確実に機能できる施設環境

- ・仮設マンホールトイレ ・かまどベンチ ・防災用井戸の活用
- ・下水道本管断裂に備えた緊急汚水槽 ・72時間稼働の非常用発電機
- ・自然風を活用した館内循環 ・自然採光（天窓等有効活用）

④地域の防災拠点として十分な防災備蓄

防災拠点としての集中的な備蓄および物資集積拠点として必要な資機材を備えます。

⑤冠水に対する防災対策

日野市洪水ハザードマップによる想定浸水レベル 50 cmに対応できるよう、1階床レベルを地面から 60 cm上げた計画としています。また、電気設備を上階に設置することで機器の冠水を防いでいます。

【施行状況】

建物 1階から 2階のコンクリートを打ち終え、鉄骨の屋根を組み上げています。

【環境確保】

現場施行に携わる職長で構成される「NANPEI Workers」の安全衛生管理の取り組みを紹介します。

- ①工事現場仮囲いを活用し、花壇を設置したり、情報発信スペースを設置しています。
- ②現場スローガンを従事する職人さんから募集をし、西側足場に設置しています。
- ③東京 2020 大会横断幕の取付け作業も協力していただいています。

その他、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

次号は令和 3 年 10 月 15 日号を予定しています